



激闘の2学期 ~過ぎ去りし115日と14日間の休息~

1年間で最も長い2学期が本日終了しました。1学期と比べると、高校生活に慣れた115日間ではなかったでしょうか。その一方で、部活動で中心選手としての役割が増えた人や、勉強が難しくなり悪戦苦闘の日々を過ごした人も多かったのではないのでしょうか。学年集会でも話がありましたが、理想は右肩上がりに成長していくことです。しかし、実際はそうはなりません。がんばってはいるけれど、なかなか結果に結びつかずに苦悩する時間は必ずあるのです。大切な事は、「その時間をどのように過ごしたか」ということです。「結果が出ると信じてしっかりと力を蓄える時間」と前向きに考えるのか、「もう無理だから諦めてしまおう」と考えるのか、ここが分岐点になります。トランポリンは、深く沈んだ分だけ大きなジャンプに繋がります。逆に言えば、大きくジャンプをするためには、深く沈むことが必要であるということです。2025年をどう過ごしますか？この1年間は大きな意味を持ちます。在りたい自分を想像し、そこに向かって準備をする1年となるよう努めて下さい。115日間の疲れもあると思います。年末年始を有意義に過ごしてもらって、1月8日（水）に元気な姿で登校して下さい。

11月・12月は、学年で実施する行事が数多くありました。以下に、その内容を紹介させていただきます。



人権 LHR 11月13日(水)

11月13日（水）に人権 LHR を実施しました。今回のテーマは「表現の責任」をテーマに、インターネット・SNS における表現の責任について考える機会としました。スマートフォンが私たちの日常生活に欠かせないものとなり、生活を豊かにしてくれる一方で、使い方を間違えると、周りの人を傷つける道具にもなってしまいます。今回の LHR で学んだことを忘れず、スマートフォンとの付き合い方を考えて下さい。以下に LHR の感想を一部紹介します。



- ・SNS は、思ったことを気軽に投稿したり見知らぬ他人とのコミュニケーションが取れることができる一方で、他人への誹謗中傷、個人の情報を流してしまうおそれもあるのでルールやモラルを守り、正しく利用することを心がけたい。
- ・SNS 上におやみに投稿しないことが大切だと思いました。“自分だけが良い”という考えで投稿してしまうと周りの人を巻き込んでしまう可能性がある。
- ・見たことを真に受けず、一度自分で考えてから発言する。SNS でも、日常生活でも間違えていることが出回っている可能性があるため、まず自分でその情報について考えてから発言すると良い。
- ・常に相手の立場に立って発言していきたい。ラインなどでも、一度書いた後に相手が嫌な思いをしないか考えて送信しようと思う。
- ・言った側が発する何気ない一言でも言われた側はずっと落ち込むことがある。だから SNS とは関係なく言葉を発する前にとげがないかの確認は必要だと思います。
- ・私も普段からよく SNS を利用しているので、自分の個人情報が出た時、いつどこでどうやって誰によって起きたのか誰にも分からないので、普段から管理をしっかりしておきたいと改めて思いました。流出してしまった時はすぐに警察や弁護士に相談する、流出しないためには自分でしっかりと適切に管理する、などたくさん学べたのでこれから活かしていきたいです。

進路実現に向けて

総合ヒューマン類型では、年に5回大学や短期大学など進路の知見を広げるために校外学習を実施しています。2学期には、大手前大学・関西学院短期大学に行きました。看護・保育分野について説明を聞き、施設見学も行いました。それぞれの進路に向けて見識を深める機会となりました。また、11月14日（木）には小学校・中学校・高等学校の教員志望者を対象に、教職員ガイダンスを実施しました。兵庫県教育委員会から教師の仕事の説明やワークショップを行う中で教師の仕事の魅力について説明して頂きました。それぞれの進路実現に向けて、少しずつ歩み始めています。卒業後の自分、仕事をしている自分を具体化していく動きもしていきましょう。



教職ガイダンス



大手前大学国際看護学部



関西学院短期大学

学年レクリエーション 11月20日(水)

11月20日(水)に学年の親睦を深めるために、学年レクリエーションを実施しました。LHR委員が企画し、中間考査が終わってから種目決め・ルールの制定・当日の役割分担などの準備を進めてきました。当日は、晴天の下、クラス対抗でドッジボールを行い、いい汗をかきながらお互いの健闘を称え合いました。LHR委員の皆さん、お疲れさまでした。



進路ガイダンス 12月20日(金)

先日、1年生対象の進路ガイダンスが行われました。様々な分野について大学・短期大学・専門学校から講師の方が来られ、説明していただきました。高校生活も1/4が過ぎ、生徒たちも卒業後の自分について考える機会となりました。将来の目標が明確になれば、今すべきことも分かってきます。来年は、具体的な進路希望先を確定していきましょう。

【説明分野】

心理 文学・歴史 外国語・国際関係 法学 経済・経営 理学 工学 情報
 看護 医療 栄養 教育 保育・幼児教育 美術デザイン・アニメ・マンガ 観光
 福祉 体育・スポーツ 歯科衛生・歯科技工 理美容 調理・製菓 動物 リハビリ
 自動車 コンピューター・ゲーム・CG 就職・公務員対策

最後に…GPC

GPC、みなさんもう浸透してきたでしょうか? 「Good Preparation Campaign」の略です。「良い準備は良い結果につながる」。準備の大切さを伝えてきました。結果を出すために十分な期間をとって準備を進める習慣をつけて下さい。メジャーリーグでも活躍したイチロー選手は、「努力した結果、何かができるようになる人のことを『天才』というのなら、僕はそうだと思う。」と述べています。努力すること、準備をすることの大切さを様々な場面で述べています。その中の1つを紹介します。何かを感じてくれたら幸いです。

【イチロー選手の言葉】

**首位打者のタイトルは気にしない。
 順位なんて相手次第で左右されるものだから。
 自分にとって大切なのは自分。
 だから1本1本重ねていくヒットの本数を、自分は大切にしている。**

2学期球技大会

今回も体育委員が企画から運営まですべてを取り仕切ってくれました。今回は、体育館とグラウンドの2会場同時進行であり、体育委員も大変だったと思います。そのような中でも、球技大会を円滑に進行するための工夫や気遣いが随所に見られました。行事を通して成長できたのではないかと思います。また、46回生全員で球技大会を盛り上げてくれたことは、体育委員としてもやりがいを感じたと思います。とても良い行事となりました。みなさん、ありがとう

表彰状

総合優勝 4組 6組
 総合3位 1組

男子	ハイキュー	優勝	6組
		準優勝	4組
	ブルーロック	優勝	5組
		準優勝	6組
女子	ハイキュー	優勝	4組
		準優勝	7組
	ブルーロック	優勝	2組
		準優勝	1組

令和6年12月19日

1・2月の予定

12月 27日 (金)	学校閉庁日	
1月 6日 (月)	学校閉庁日	
1月 8日 (水)	始業式・課題考査(国語・英語)・大掃除 午後放課	
1月 9日 (木)	課題考査(数学) 平常授業開始(6限)	
1月 11日 (土)	第3回総合学力テスト	
1月 17日 (金)	震災追悼行事	
2月 14日 (金)	生徒休業日	
2月 17日 (月)	生徒休業日	
2月 20日 (木)	学年末考査(~27日)	
2月 27日 (木)	卒業式予行	
2月 28日 (金)	卒業証書授与式	

コラム

テストの点数ってどう見てる??

小テストや定期考査などの返却時、皆さんは様々な反応を見せてくれます。当然ながら、良い点数であることを期待し、数字に一喜一憂しますよね。そもそも、テストは何のためにするのでしょうか??成績をつけるためでしょうか?学力を数値化するためでしょうか?私はそうは考えていません。テストは、学力の現状を確かめ、そこからどのように成長に繋げるかを考えるためのものだと思います。例えば 70 点をとった場合、7割とれたことに満足するか、3割ができなかったことに危機感を覚えるか、どちらの考え方をするかで、その後の自分が進むべき道が分かりますよね。間違えた部分を見て、自分の成長の材料が転がっていると考えて下さい。間違いをそのままにせず、次に会ったときにはしっかりクリアできるよう、事後の勉強にも力を入れて下さい。

自分で勉強する契機として定期テストを活用するという考え方ができれば、学生時代はもとより社会に出てからも学び続ける姿勢を身に付けるためには必要ではないでしょうか。今一度、テストへの向き合い方を考えてみて下さい。

GPC、みなさんもう浸透してきたでしょうか?Good Preparation Campaign の略です。2学期に入り、ことあるごとにこの言葉を出してきました。「良い準備は良い結果につながる」。準備の大切さを伝えてきました。定期考査を通して、良い準備はできましたか??結果を出すために十分な期間をとって準備を進める習慣をつけて下さい。メジャーリーグでも活躍したイチロー選手は、「努力した結果、何かができるようになる人のことを「天才」というのなら、僕はそうだと思う。」と述べられています。努力すること、準備をすることの大切さを様々な場面で

	女子		男子		
	ブル		ブル	総合3	総合優
	ハイ		ハイ		表

述べています。その中の1つを紹介します。何かを感じてくれたら幸いです。